

夏の夜は危険がいっぱい



熱中症 ～室内でも安心できません～

梅雨明けから患者が急増し、20度以下の部屋でも蒸し暑く風通しの悪い部屋などでは汗が蒸発せず体内温度が上がって熱中症になることがあります。自分は大丈夫と思わず、十分な注意が必要です。

《熱中症が起きる場所》

屋内 33% 戸外 43% 運動中 14%

《救急車で搬送される重症の熱中症患者》

室内 60% 戸外 40%

室内が多いのは…？

どうしたらいい？

熱帯夜が続くような時、クーラーが嫌いな人は特に注意が必要。クーラーをつけずに暑い部屋で寝ていると、湿度が高い場合、汗が出てもなかなか蒸発しないので体温が下がらず、熱中症になりやすくなります。

首振り型の扇風機で室内の空気を攪拌（かくはん）することが大切です。例えば、お風呂上がりで体が濡れているときに、手だけは拭いて感電を防止した上で、ドライヤーをcoldにして毛髪ではなくて体に風を当ててみて下さい。風の当たった部分が急速に冷えるのを体感できると思います。この原理をうまく利用して、正しく体温を調節していきましょう。

そこで！

LaLa ならこの空気の攪拌を自然にすることができます！

少しでも快適に暑い夏を乗り切りたい方は、スタッフまでお気軽にお問合わせください。